

ビケン製日本脳炎ワクチン（ジェービックV）が急に入手困難となり、KMb製ワクチン（エンセバック）のみになりますので定期接種の必要本数を確保するのが難しくなっています。国からの要請もあり限られたワクチンを優先的に適切に使用することとなります。その方法を提案いたします。

日本脳炎の通常の接種開始は3歳からで、1か月開けて2回とその1年後が推奨されています。感染リスクが高い環境（養豚場近郊、猪が出るような里山、流行地域のアジアへ渡航など）での生活ならば生後6か月からの定期接種を推奨しています。3歳以上成人は1回0.5ml。3歳未満は1回0.25mlを皮下注します。添付文書には1-4週間隔と書かれていますが、初回の2回接種で十分な効果を考えるなら4週間（3-6週間）開けることを推奨します。その感覚での2回接種後は2-3年間は有効ですから乳児期に2回済ませても3歳過ぎの成人量での追加接種が可能です。そうすれば2期（9-12歳）への移行がスムーズです。

日本脳炎の開始は遅くとも6歳までに始めれば7歳半までには3回目の追加まで済ませられます。また1回目を接種した人は1か月後、遅くとも2か月以内をめぐりに追加しましょう。もし2回目が手に入らなければ1年後（2021年12月頃には再開予定）にはされることになっていますから1年開けて2回目、その半年以降に3回目を追加すれば定期接種の間隔を満たします。その3回目接種で有効です。アジアへ行くとか急ぎたい人は定期接種にはなりません。輸入ワクチンで2回済ませることも方法です。名古屋など都市部なら接種開始を6歳まで待っていてもいいですが（1年待てば再開できます）、山間部はイノシシが生息していますから日本脳炎のリスクは都市部よりは高いと思います。とりあえず1回で済ませて再開を待って2回目、そして半年以上開けて3回目と思います。2期は12歳で追加すれば十分です。9-10歳での追加は早すぎです。1期3回が済んでいれば10年間は有効ですから2期をあわてないことです。

以下、日本脳炎ワクチンが不足の事態を受けて緊急提案です。

- ①1期の1回目を優先する。
- ②1期の2回目は準備ができれば1か月～2か月ほど開ける。1年後でもよい。
- ③3回目（1期の追加）は2回目から半年以上開ける、2年後でもいい。
- ④1期2回が1か月ほどの間隔で済んでいれば、追加は3年以内で大丈夫。
- ⑤1年間隔で3回でも1期の効果は変わらない。3回目の接種後から有効。
- ⑥感染リスクの高い環境では、任意接種も検討する。個別に要相談
- ⑦1期が済んでいれば2期は9歳にこだわらず12歳での追加を推奨する。
- ⑧平成19年4月1日生まれまでの人は20歳までに、平成21年10月1日生まれまでの人は2期の期間に、定期接種の不足分を追加できるが適切な間隔で必要回数を計画する。
- ⑨当センターのHPに不規則事例を載せてはいるが、今回のようなワクチン不足時の対応については①～⑧を参照ください。さらなる不規則事例では個別に相談ください。

ワクチンの無くなり方が予想よりも急激です（連絡が遅すぎです）。定期接種の急がなければいけない人を優先します。アジアなど海外向けの人には輸入ワクチンを緊急輸入して準備しています。